

学校教育目標	◎主体的に学ぶ態度を育成し、確かな学力を身につけさせる。 ◎コミュニケーション能力を高め、健全な社会性を身につけさせる。				
	【知】知的関心を高め、主体的に取り組む態度を養い、他者との協働の中から、思考力、判断力、表現力その他の能力を育てる。 【徳】豊かな体験を通して心の育成を図ると共に、望ましい姿を志向する姿勢を育てる。 【体】安全を志向する姿勢と健やかな体を育てる。 【公】郷土を愛し、社会の一員としての自覚を促し、進んで社会貢献する姿勢を育てる。 【開】コミュニケーション能力を養い、社会の中で、他者と共生していける力を育てる。				
学校概要	創立 61 周年	学校長 笠原 一	副校長 小森 一樹	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 532 人	主な関係校: 大道小学校 朝比奈小学校 高舟台小学校 六浦南小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	大道中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>【学習の基盤となる能力】情報を整理・活用するなどして自分の考えを形成し、発信する能力を育成</p> <p>【現代的な諸課題に対応する能力】多様性を尊重して主体的に社会に参画し、持続可能な社会を創造していく能力を育成</p>	<p>大道中学校 朝比奈小学校 大道小学校 六浦南小学校 高舟台小学校</p>	<p>自他の関係づくりを大切にする子ども</p> <p>※自己有用感を育成する『学習活動』の実践 ※自己有用感を育成する『児童生徒指導』の実践 ※他者理解力を育成する『多様性理解教育』の推進</p>

中期取組目標	<p>◇学校教育力を高めるため「チーム大道」を合言葉に職員相互の結束を強め、地域や協力機関と積極的な連携を進めます。</p> <p>◇誰もが安心して過ごせる学校づくりを推進するため、人権教育の推進や教育相談などの共感的生徒理解の充実を進めます。</p> <p>◇生徒の自ら学ぶ姿勢と自己有用感の向上を図るため、授業方法の改善や特別支援の視点を取り入れた指導を進めます。</p> <p>◇生徒の多角的な考え方や共生感覚・社会参画意識を高めるため、横断的な学習や地域・協力機関との連携強化を進めます。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<p>知 確かな学力</p> <p>担当 教科計画部</p>	<p>①日常やテスト前の学習相談の機会をとらえて、理解が不足している生徒に対して適切な助言を行う。 ②教材を工夫し、だれもが達成感を持てる授業展開を行う。 ③生徒の学力の定着状況を定期的に確認する。また、授業評価を定期的に行い、教職員の授業改善につなげる。 ④主体的に取り組む学習として「総合的な学習の時間」の改善を図り、更に充実させる。</p>
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 特活指導部 道徳係</p>	<p>①委員会活動や行事における活動の中で、生徒が目標を意識して主体的に行動できるような働きかけを行う。 ②体験を通して成長した点を自覚させ、行事以外の日常生活の場でもより良い生活をめざしていける集団づくりを行う。 ③道徳の授業を充実させ、生徒個々の道徳性を涵養する。</p>
<p>体 健やかな体</p> <p>担当 保健安全指導部</p>	<p>①保健体育科の授業や日常的な保健指導を通して、基本的な生活習慣を大切にして心身の健やかな成長を育む態度を養う。 ②危険を予測して行動する能力や、健康を意識して生活するための能力を身につけさせるために健康教育の充実を図る。 ③食育や日頃の生活習慣が大切であることを意識し、また改善しながら体力の向上を図る。</p>
<p>公開 共生社会の実現</p> <p>担当 教科計画部 人権担当</p>	<p>①自校における人権週間を設定し、各学年の生徒の状況に合わせた内容で「人とのつながりから学ぶ」人権学習を行う。 ②各学年の発達段階に合わせた講演会を特別授業として行い、いのちの大切さを考えさせる。 ③地区懇談会や「認知症サポーター養成講座」などを通して、共生社会を形成する意識を養う。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>	<p>①いじめ防止研修を行い、職員の感度を高くする。生徒指導部と連携した教育相談や生活調査、YP等により、いじめの早期発見、早期解決を目指す。 ②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。またいじめ防止につながる発達支持的生徒指導を行い、多様性を認め、人権侵害をしない風土を醸成する。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 メンターチーム 教育課程委員会</p>	<p>①メンターチームを充実させし、ミドルリーダーを中心に年間6回程度の自主研修を行い、経験の浅い職員の育成を図る。また、定期的な校内相互授業参観を通して、授業力の向上のみでなく、学年や教科を越えた意見交換を実施する。 ②外部指導者を積極的に活用し、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上を目指す。 ③働き方改革の視点から、会議の円滑化および時間短縮を行い、職員の働き方について考える。</p>
<p>地域学校・協働活動</p> <p>担当 特別部会 地域連携</p>	<p>①地域や関係機関の人材を活用した授業を計画し、実施する。また、様々な教育の場において地域との連携を図る。 ②生徒が地域行事に積極的に参加できる体制を整備する。 ③小中一貫教育を推進するために、中学校ブロックおよび関係校との連携を図る。</p>
<p>生徒指導</p> <p>担当 生徒指導部</p>	<p>①全職員の共通理解のもとお互いに協力しあいながら、一人ひとりの生徒を大切にする指導を行う。 ②各授業を通して、規範意識を高める教育活動を行う。 ③職員同士が連携できるよう生徒情報を確実に共有し、的確且つ迅速に指導を行う。 ④誰もが相談しやすい環境を整え、個に応じた教育相談を行う。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援委員会</p>	<p>①特別支援教育委員会を中心に支援の必要な生徒の支援計画、指導計画を共有し、的確な指導、支援を進める。 ②特別支援教育に関する研修を通して、特別支援の視点を活かした授業作りに取り組む。</p>
<p>安全管理</p> <p>担当 保健安全指導部</p>	<p>①生徒、教職員が防災に対しての意識を高く持てるよう校内の防災計画を充実させる。防災拠点校として災害時に教職員が適切で迅速な対応を行うために地域・町内会との連携を図る。 ②校内の安全点検を充実させ、安心安全な学校生活が送れるように校内環境の改善を図る。 ③地域人材を活用して、生徒の防災・防犯意識の向上に努める。</p>